

令和 7 年 4 月 24 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム 久米の家

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 7 年 3 月 12 日（水） 13 時 30 分～15 時 00 分まで

開催場所…グループホーム 久米の家 ホール

出席者

事業所	2 人	利用者	0 人
利用者家族	0 人	地域代表者	3 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	0 人	その他（ ）	0 人

議事

○前年度の外部評価の改善計画の経過

ご利用者の行動や言動を制止する言葉掛けや対応が見受けられる。

➡不適切ケア チェックリストの利用

➡認知症基礎研修での自己学習

➡1 年ごとに職員個々でそれぞれに目標設定し（1 年後にどうなりたいのか）、目標に向かいステップアップしていくしくみを作る

*上記を 1 年かけて取り組んだ経過を報告する。

○運営推進会議で行う外部評価の前半

ホームの様子やケアの様子（食事・レク・口腔ケア・入眠前の様子）を写真や動画で報告してから自己評価・外部評価運営推進会議活用ツールを行う。

○困難と感じたケアの事例のその後の報告

令和 7 年 1 月 31 日医療保護入院より退院。退院までに医療機関と 2 回カンファレンスを行なう。医療保護入院からおおよそ 2 ケ月入院時に問題となっていた暴力などは影を潜めており八雲病院医師の判断により退院となる。退院後も昼食前夕食前（1～2 時間前）は、空腹時のイライラで机を叩く事や寝付かれるまで壁を足で叩かれる行為は継続。暴言はあるが以前のように手を出される事はない。又 3 月に入り落ち着いて来られ空腹時の暴言も軽減し、夜間も休まれる日が多くなる。退院前は、対応が出来るか職員間でも不安の声が多かったが、現在は受け入れて職員の自信にも繋がり良かった。また、現在もご利用者と向き合い優しい細やかな対応を継続してくれている職員に事業所として感謝している。

○活動報告と現状報告

利用者 9 名（女性 5 名 男性 4 名）

年 齢 平均 84 歳

介護度 介護 1 (2 名) 介護 2 (3 名) 介護 3 (2 名)
介護 4 (1 名) 介護 5 (1 名) 平均 2.5

職員 管理者 1 名 ケアマネージャー 1 名

介護職員 10 人 (常勤 7 人 非常勤 3 人・短縮時間制度利用 2 名)

介護福祉士取得 8 人

認知症基礎研修 8 人

調理職員 3 名 (非常勤 4 名)

・行事やレク等報告

パワーポイントで写真や動画を使って発表する

・ヒヤリハット報告

	1 月	2 月
ヒヤリハット	0 件	1 件
苦 情	0 件	1 件

ヒヤリハット…廊下を車椅子で足こぎをしておられたご利用者様が廊下の移乗バーを持って立たれていたのを発見してヒヤッとした。

➡対策として、ご利用者のしたい行動を止めずに見守りを強化する。

苦情…ご利用者から毎日起きた時間とその時の気持ちで朝食時間を決めたい。朝食の声掛けに来られるのが、せかされているようで嫌だ。また、最近家に帰っていない。

➡対策として、ご利用者のペース（時間）に合わせて朝食を準備する。

ご家族に外泊を相談して支援に繋げる。

○委員会活動

虐待防止委員会➡ZOOM で研修会に参加

身体拘束排除委員会➡WEB 研修会 LINEWORKS に研修動画を投稿し自己研鑽する

業務継続委員会➡原子力計画の見直し

➡ご家族との連携 災害に役立つ情報を発信

生産性向上委員会➡タブレットの記録の見直し。

○その他

毎年運営推進会議で行う外部評価ツールが文章（文字）だけだとわかりにくく評価しにくい…との声あり前持って写真や動画など準備しているが 1 回の推進会では時間不足で今後検討が必要である。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○